

【4 歳児】

(1) 幼児の姿と教師の願い

削除しています。

(2) ねらいと内容

- 自分の思いを伝えたり，友達の考えを聞いたりしながら，友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。
 - ・自分の思いを伝えたり，友達の考えを聞いたりして遊びを進めていく。
 - ・友達と共通のイメージをもって遊ぶ。

(3) 活動の内容（別記）

(4) 評価の観点

- 自分の思いや考えを伝えたり，友達の思いを聞いたりしながら遊ぶことができたか。
- 自分の思いを伸び伸びと表せるような雰囲気づくりや環境づくりができたか。
- 友達の思いや考えを聞けるように仲立ちができたか。

【5 歳児】

(1) 幼児の姿と教師の願い

削除しています。

(2) ねらいと内容

- 友達とめあてを共有し，考えを伝え合いながら遊びを進めていくことを楽しむ。
- 年下の幼児と接することで，自分の成長に気付いたり，思いやりの心を育んだりする。
 - ・共通の目的にむかって，自分の思いや考えを互いに伝え合い，遊びを進めていくことを楽しむ。
 - ・異年齢の友達に教えたり，手助けをしたりしながら一緒に遊びを進めていく。

(3) 活動の内容（別紙）

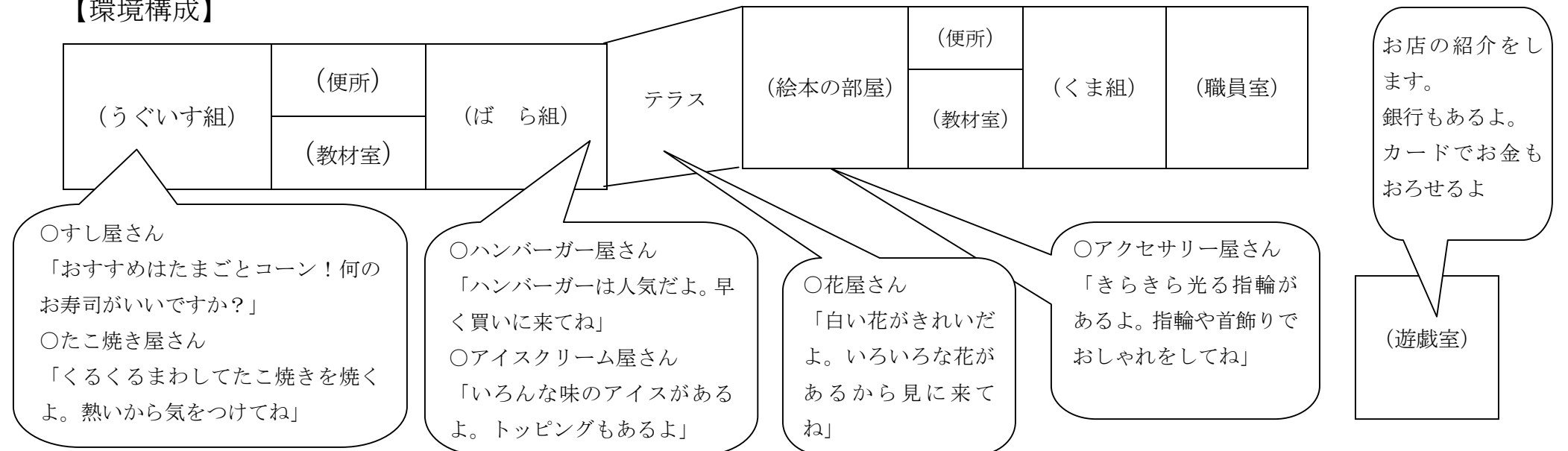
(4) 評価の観点

- 共通の目的に向かって，友達と考えを出し合って進めていくことを楽しんでいたか。
- 目的を共有して，自分の思いや考えを伝え合いながら，遊びを進めることを楽しむことができるような環境構成や援助ができていたか。

(5) 活動の流れ (4. 5 歳児)

時刻	活動の流れ
13:15	<ul style="list-style-type: none"> ○遊戯室に集まる。 ○お店の紹介をする。 ・グループごとに行う。 (6グループ)
13:30	<ul style="list-style-type: none"> ○お店屋さんごっこをする。 ・銀行屋さんをする。 ・たこやきやさん (おんぷチーム) ・アクセサリやさん (クローバーチーム) ・はなやさん (ひよこチーム) ・ハンバーガーやさん (ダイヤモンドチーム) ・すしやさん (ドラえもんチーム) ・アイスクリームやさん (ばななチーム)
14:00	<ul style="list-style-type: none"> ○片付けをする。 ○各保育室に戻る。 ④今日の遊びについて振り返る。 ⑤今日の遊びについて話し合う。 ○降園準備をする。
14:30	○降園する。

【環境構成】



○お店屋さんごっこ

4 歳児 環境構成 (★) と教師の援助 (◇)
<ul style="list-style-type: none"> ◇わくわくする気持ちに共感し、お店やさんが始まることに期待を膨らませることができるようにする。 ◇友達や年長児と一緒に遊ぶ姿を見守り、幼児がしようとしていることを受けとめながら、一人一人が自分の思いを実現し、遊びを十分に楽しめるようにする。 ★お店やさんに必要なものがあればいつでも作れるように、材料や用具を用意しておく。 ◇遊びの中で自分の思いを伝えようとする姿を大切にし、トラブルが起きた時には、互いの思いが受けとめられるよう仲立ちとなり、周囲の幼児と一緒に解決方法を考えながら友達と遊びを進める楽しさを味わえるようにする。 ◇幼児同士のかかわりの様子を見守り、必要に応じて声をかけ、仲立ちをしていき、友達とイメージを共有しながら遊びを進めていけるようにする。

○今日の遊びについて振り返る

教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ○友達や異年齢の友達と一緒に遊んで楽しかったことやうれしかったことなどを受けとめ、友達とかかわりながら遊びを進める楽しさを味わえるようにする。 ○遊びの中での様子から明日の生活につながる様子を知らせたり、必要なことを幼児と一緒に考えたりしながら、次への期待につながるようにする。

○お店屋さんごっこ

5 歳児 環境構成 (★) と教師の援助 (◇)
<ul style="list-style-type: none"> ◇友達と一緒にイメージを出し合い相談しながら作り上げたお店に自信をもち、お客さんが来てくれる喜びを味わいながら楽しく遊びを進めていけるようにする。 ◇工夫しているところや協力して作りあげているところを取り上げ、幼児のがんばりを認め、意欲が高められるようにしていく。 ★イメージがさらにふくらむよう、製作コーナーを用意しておき、遊びに必要な物を自分たちで考えたり、作ったりできるようにしておく。 ◇ごっこ遊びを進めていく上で、互いの考えを出し合って遊びを進めている姿を認めたり、友達の良い考えやアイデアを周りの幼児に知らせたりすることで、イメージを共有しながら遊ぶ楽しさを感じることができるようになる。 ◇遊びを進めていく中で、思いがぶつかった時にはグループ全員が納得して行えるよう、お互いの意見を聞きながら解決をしていく。 ◇異年齢の友達の思いや考えを聞き入れながら、遊びを進めていくことができるようにする。

○今日の遊びについて話し合う

教師の援助
<ul style="list-style-type: none"> ○幼児同士で協力して遊びを進めていた姿や、工夫していた姿を認め、楽しかった気持ちを共有できるようにしていく。 ○自分の感じた思いを言葉で話す姿や友達の話を聞く姿を認めることで、聞いたり受け入れたりされる嬉しさが味わえるようにする。 ○友達と一緒に考え、工夫したことを話し合う中で、今日の取り組みに、満足感を感じられるようにすると共に、さらにどのようにしたらよいかも話し合い、明日の遊びへの期待、意欲へとつなげていく。